

宮城県石巻市、東北工大

まちづくりなどで相互連携

包括協定の締結式

宮城県石巻市と東北工業大学（渡邊浩文学長）は、景観、町並み保全およびまちづくりに関する事項など

包括連携協定締結



齋藤市長（右）と渡邊学長

を盛り込んだ包括連携協定の締結式を2日に石巻市役所で開催した。

東日本大震災以降、雄勝町の復旧復興に関して連携を図り、主にまちづくりや伝統工芸品について活動を

行ってきた両者が、このほど市内全域を対象とする全面的な連携協力を行うこととなった。

市と大学がそれぞれ有する資源を積極的に活用し、相互に連携・協力することで、相互の人材育成と地域の活性化を図ることが目的。

連携事項は▽地域の観光資源を活用した地域活性化▽景観、町並み保全およびまちづくり▽地場産業の持続的発展および産業振興全般▽防災・減災対策▽SDGsの普及・啓発▽その他協定の目的を達成するために必要な事項および調査研究に

関することの6点。

協定式には市から齋藤正美市長、岡浩復興企画部長、佐藤政孝雄勝総合支所次長、大学側から渡邊浩文学長、佐藤亨大学事務局長、山田一裕地域連携センター長が出席した。

協定書に署名を終えた齋藤市長は「本市のさらなる活性化、相互の発展を図ってまいりたい。また、地域経済の立て直しに関しても一層の協力をお願いしたい」と期待を込めた。

続けて渡邊学長は「防災・減災、観光資源を活かしたまちづくりをともに考え、造り込んでいきたい」と抱負を語った。